

## 2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年8月9日

上場会社名	株式会社 北川鉄工所	上場取引所	東
コード番号	6317	URL	<a href="https://www.kiw.co.jp/">https://www.kiw.co.jp/</a>
代表者	(役職名)代表取締役会長兼社長	(氏名)北川 祐治	
問合せ先責任者	(役職名)取締役執行役員 経営管理本部長	(氏名)宇田 育造	(TEL)0847(45)4560
四半期報告書提出予定日	2019年8月9日	配当支払開始予定日	—
四半期決算補足説明資料作成の有無	: 無		
四半期決算説明会開催の有無	: 無		

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	14,184	1.1	870	△40.7	991	△38.2	651	△42.1
2019年3月期第1四半期	14,032	13.8	1,469	36.7	1,602	28.4	1,125	43.7

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 765百万円 (182.7%) 2019年3月期第1四半期 270百万円 (△60.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	69.55	—
2019年3月期第1四半期	120.13	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	73,012	37,973	50.1
2019年3月期	73,453	37,629	49.4

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 36,605百万円 2019年3月期 36,273百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	45.00	—	45.00	90.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	50.00	—	50.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	32,800	13.6	2,800	0.4	3,060	△2.9	2,160	△0.3	230.66
通期	63,000	4.4	5,000	△8.5	5,500	△7.3	3,900	1.2	416.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期1Q	9,650,803株	2019年3月期	9,650,803株
2020年3月期1Q	286,400株	2019年3月期	286,360株
2020年3月期1Q	9,364,453株	2019年3月期1Q	9,365,805株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2019年4月1日～2019年6月30日)におけるわが国の経済は、これまで堅調な企業収益や雇用環境の改善を背景に回復基調で推移してまいりましたが、米中貿易摩擦の長期化によって、世界的に景気後退の懸念が強まっており、国内においても設備投資の先送りなどその影響が広がりつつあり、先行き不透明な状況となっております。

このような状況のもと、当社グループでは、各事業分野において、生産性の向上や積極的な営業展開等、収益力を強化するために力強く事業を推進してまいりましたが、前年同期と比較すると厳しい状況で推移しました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高はグループ全体で、14,184百万円(前年同四半期比1.1%増)、営業利益870百万円(前年同四半期比40.7%減)、経常利益991百万円(前年同四半期比38.2%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益651百万円(前年同四半期比42.1%減)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。詳細は、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」の「II 当第1四半期連結累計期間3. 報告セグメントの変更等に関する事項」をご参照下さい。

## キタガワ マテリアル テクノロジー カンパニー(金属素材事業)

自動車関連業界につきましては、先進国を中心に世界の自動車需要が減速しております。また、更なる排出ガス規制に対応するため、ハイブリット化や電動化へのシフトが進んでおり、部品の軽量化や省パーツ化に向けた取り組みが行われております。建設・農業関連業界につきましては北米、欧州、アジアの需要が堅調に推移しており、好調を維持しております。

このような状況のもと、当事業におきましては、前年度に引き続き、既存顧客の海外展開へ対応してシェアの拡大を図るとともに当社の強みである素材と加工の一貫生産を活かした高付加価値製品の新規受注活動に注力してまいりました。また、人員増強や造型用中子の値上がり等によりコストが増加するなかで、不良の低減や歩留り改善等による生産効率の改善、中子の一部内製化等による調達コストの削減、福山工場加工ラインにおける自動車トランスミッション部品の安定的な生産及びライン増設を進めてまいりました。これらの取り組みを進めることにより売上高は確保しましたが、国内生産における自動車部品の不良率が高止まりしたこと等によって、利益面では厳しい状況で推移しました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の当事業の売上高は7,152百万円(前年同四半期比1.0%増)、セグメント利益(営業利益)は196百万円(前年同四半期比55.3%減)となりました。

## キタガワ サン テック カンパニー(産業機械事業)

国内の建設業界におきましては、2019年度の建設投資は前年度比微増で推移していくことが見込まれております。一方で、型わく工をはじめ多くの職種で建設技術者の不足や業界全体で高力ボルトの入手が困難な状況が続いたことによって、現地工事の長期化やコストの増加の要因となりました。

このような状況のもと、当事業におきましては、各カテゴリーにおいて、品質の確立やサプライチェーンの再構築により収益体制を強化するとともに、お客様の満足度を高めるためにお客様のニーズを的確に捉えた商品やサービスを提供してまいりました。これらの取り組みを進めることにより、コンクリートプラント事業は、生産設備の更新需要が高まったこともあり好調に推移しました。また、自走式立体駐車場事業においても、遊興施設や商業施設等に付帯する大規模駐車場工事を複数獲得したことにより、堅調に推移しました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の当事業の売上高は4,340百万円(前年同四半期比20.6%増)、セグメント利益(営業利益)は454百万円(前年同四半期比26.3%増)となりました。

## キタガワ グローバル ハンド カンパニー(工作機器事業)

工作機械業界におきましては、世界的に景気の先行きの不透明感が強まっており、国内外ともに、企業の設備投資は減少傾向となっております。

このような状況のもと、当事業におきましては、ロボット分野などの新たな市場領域に参入するため、自動化シ

システムチームを発足して積極的にプロモーションを行っております。また、主力商品のひとつであるパワーチャックの高付加価値商品として開発したBRシリーズを市場へ投入して重点的に営業活動を開始しました。さらにグローバル展開として、インドにパワーチャックの生産工場を建設中であり、インド市場における事業を強化することしております。これらの取り組みを進めてまいりましたが、国内市場につきましては、設備投資の減少から工作機械メーカー向け、一般ユーザー向けともに軟調に推移しました。海外市場につきましても、中国や欧州が低調であったことにより厳しい状況で推移しました。

その結果、当事業の売上高は 2,609百万円（前年同四半期比 20.4%減）、セグメント利益（営業利益）は 436百万円（前年同四半期比 47.4%減）となりました。

## （2）財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、売掛債権の減少により、前連結会計年度末に比べて 440百万円減少し、73,012百万円となりました。

負債は、未払法人税等の減少により、前連結会計年度末に比べて 784百万円減少し、35,039百万円となりました。

純資産は、当第1四半期連結会計期間末に配当の実施がありましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上などにより、前連結会計年度末に比べ 344百万円増加し、37,973百万円となりました。純資産から非支配株主持分を差し引いた自己資本は 36,605百万円となり、自己資本比率は 50.1%となりました。

## （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、2019年5月10日に公表した予想に変更はございません。

なお、今後の見通しにつきましては引き続き検討を行い、業績予想に関し修正の必要が生じた場合には、速やかに開示する予定であります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,721	8,524
受取手形及び売掛金	12,399	10,210
電子記録債権	7,245	6,501
商品及び製品	3,704	4,336
仕掛品	4,451	5,240
原材料及び貯蔵品	2,189	2,263
その他	270	602
貸倒引当金	△18	△15
流動資産合計	37,962	37,663
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,709	6,720
機械装置及び運搬具（純額）	15,559	15,998
その他（純額）	6,363	6,025
有形固定資産合計	28,633	28,745
無形固定資産	503	469
投資その他の資産	6,354	6,134
固定資産合計	35,490	35,349
資産合計	73,453	73,012

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,956	5,466
電子記録債務	5,599	5,877
短期借入金	3,317	4,136
1年内返済予定の長期借入金	3,338	2,769
未払法人税等	1,125	38
賞与引当金	656	224
その他	4,989	5,429
流動負債合計	24,984	23,941
固定負債		
長期借入金	4,960	5,150
環境対策引当金	219	219
退職給付に係る負債	5,310	5,382
その他	349	345
固定負債合計	10,839	11,097
負債合計	35,823	35,039
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,640	8,640
資本剰余金	5,113	5,113
利益剰余金	21,861	22,091
自己株式	△611	△611
株主資本合計	35,003	35,233
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,433	1,342
繰延ヘッジ損益	0	0
為替換算調整勘定	1,206	1,366
退職給付に係る調整累計額	△1,369	△1,336
その他の包括利益累計額合計	1,270	1,372
非支配株主持分	1,355	1,367
純資産合計	37,629	37,973
負債純資産合計	73,453	73,012

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	14,032	14,184
売上原価	11,089	11,721
売上総利益	2,942	2,463
販売費及び一般管理費	1,473	1,592
営業利益	1,469	870
営業外収益		
受取利息	9	8
受取配当金	43	45
持分法による投資利益	45	36
スクラップ売却益	52	46
その他	41	47
営業外収益合計	193	183
営業外費用		
支払利息	27	22
為替差損	20	32
その他	11	8
営業外費用合計	59	63
経常利益	1,602	991
特別損失		
固定資産除却損	—	13
特別損失合計	—	13
税金等調整前四半期純利益	1,602	977
法人税、住民税及び事業税	260	102
法人税等調整額	210	211
法人税等合計	470	314
四半期純利益	1,132	663
非支配株主に帰属する四半期純利益	6	12
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,125	651



## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
四半期純利益	1,132	663
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△85	△90
繰延ヘッジ損益	△0	△0
為替換算調整勘定	△762	163
退職給付に係る調整額	△0	33
持分法適用会社に対する持分相当額	△12	△3
その他の包括利益合計	△861	102
四半期包括利益	270	765
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	384	753
非支配株主に係る四半期包括利益	△113	11

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				計	その他	合計
	キタガワ マテリアル テクノロジー カンパニー	キタガワ サン テック カンパニー	キタガワ グローバル ハンド カンパニー				
売上高							
外部顧客への売上高	7,082	3,600	3,277	13,960	72	14,032	
セグメント間の内部 売上高又は振替高	50	0	0	51	—	51	
計	7,132	3,600	3,277	14,011	72	14,084	
セグメント利益又は損失 (△)	438	359	831	1,629	6	1,635	

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、特機事業を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,629
「その他」の区分の利益	6
全社費用(注)	△166
四半期連結損益計算書の営業利益	1,469

(注) 主に提出会社の管理部門に係る費用及び各セグメント共通の費用で便益の程度が直接把握できない費用部分であります。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他	合計
	キタガワ マテリアル テクノロジー カンパニー	キタガワ サン テック カンパニー	キタガワ グローバル ハンド カンパニー	計		
売上高						
外部顧客への売上高	7,152	4,340	2,609	14,102	81	14,184
セグメント間の内部 売上高又は振替高	62	0	4	67	—	67
計	7,215	4,340	2,614	14,170	81	14,252
セグメント利益又は損失 (△)	196	454	436	1,086	△32	1,054

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、特機事業を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,086
「その他」の区分の利益	△32
全社費用(注)	△183
四半期連結損益計算書の営業利益	870

(注) 主に提出会社の管理部門に係る費用及び各セグメント共通の費用で便益の程度が直接把握できない費用部分であります。

## 3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、「キタガワ グローバル ハンド カンパニー」に属していた特機事業を「その他」へ移管しております。なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。